

薬円台地区市政懇談会記録

開催日時

平成 16 年 10 月 2 日（土曜日）

開催場所

薬円台公民館 講堂

質問事項

- [・七林・薬円台線の拡幅について](#)
- [・習志野駅前の踏切の拡幅について](#)
- [・薬円台第 2 町会の排水処理について](#)
- [・薬円台駅前の不法駐輪について](#)
- [・薬円台交番の移転について](#)
- [・薬円台調整池の利用並びに町会会館の建設用地確保について](#)
- [・薬円台地区の下水道計画について](#)
- [・地下道の新設について](#)
- [・ごみステーションの設置指導について](#)
- [・プライバシーの保護について](#)
- [・道路上の立て看板について](#)
- [・違法駐車対策について](#)
- [・有価物資源ごみの回収協力金について](#)

七林・薬円台線の拡幅について

質問

七林・薬円台線は、新京成の踏切までの道路が非常に狭く、また、船取線から八千代方面に抜ける準幹線道路という関係で、朝夕の車の量が非常に多い。特に成田街道がいつも渋滞しているということから、逃げ道として利用されている中で、朝夕、七林の小学生、中学生、また通勤の方の通行が非常に危険です。特に子どもさんや車椅子の方には、狭いところに歩道もないので、朝夕のラッシュ時には非常に危険を伴うということでもありますので、この点を十分ご理解いただき、良い報告を一刻も早く出してもらいたいと思います。

回答

七林・薬円台線は、歩道を確保しなくてはならないであろうと考えておりますが、北側に 3・4・20 号線という都市計画道路がありますので、その辺も加味して行かなくてはならないだろうと考えております。しかし、市として何も手を打っていないということではなく、協力していただけたところは買収して行

こうということで、「さんみずし」があった所の交差点を、地主さんの了解を得て、整備しております。もう一つ、習志野駅の北側部分については、住宅を建てる前に地権者の方とお話しをいたしまして、歩道部分として譲っていただくなど、努力はしております。また、現道内の電柱などは非常に危ないので、敷地内に入れさせていただくとか、現道内で出来るものについては実施しております。ただ、用地買収というものは非常に時間が掛かりますので、要望箇所については、少しでも安全になるように、出来るところは買収して行きたいと思っております。

それから、成田街道が混んでいることから薬円台・七林線に流れ込んで来ているという考え方の中で、県では、3・4・30号線、実籾街道の所の交差点改良、市としては、薬円台交差点の改良、前原の交差点の改良と、ネックになっている交差点を改良することで、成田街道を2車線でもスムーズな流れに出来るだろうということで、鋭意努力しているおり、現在その事業を進めているのが現状であります。それから、薬円台駅から真っ直ぐ行くと変則十字路になっております場所についても、今後県にもお話しをしまして、国から補助を貰って何とか交差点改良を進めれば、スムーズに流れるだろうということで、現在検討しているところであります。

習志野駅前の踏切の拡幅について

質問

習志野駅前の踏切は、7時から8時過ぎまでは、本当に人が通れない状況であります。駐輪場が左と右に両方あります関係上、通学・通勤の方が、先ず譲らなければいけないという状況で、車優先道路みたいな感じとなっておりますので、この点もすぐ解決して貰いたいと思います。また、北習志野寄りの踏切も、道路幅が非常に狭く歩道が無いために、通学・通勤の方が危険な状況でありますので、せめて1mくらいの歩道だけでも、全面改修は無理かと思っておりますので、一刻も早く設置して貰いたいと考えております。

回答

習志野駅北側の踏切については、1.5mの歩道があります。昔、運輸省と建設省があり、運輸省からは、「前後の道路が全部拡がらないと絶対だめです」という話をいただいておりますので、なかなか拡げられなかったのですが、今は「国土交通省」と一本になっておりますので、その辺で何とかならないかと、新京成にお願いしてあります。

それから、習志野駅南側の踏切ですが、東老人福祉センターとの用地境界があります。開発行為で作った部分について一応セットバックしていただいておりますので、柵で囲まれている所をうまく使って歩道形態にして、何とか踏切

の拡幅ができないかということで、新京成と東老人の所轄の関係課とも話しをしながら、進めて行きたいと思っております。

薬円台第2町会の排水処理について

質問

薬円台5丁目13番地並びに16番地の側溝の件であります。通常はさほど感じないのですが、特に入梅時期の長雨の時には、側溝から水が溢れるというところまでは行かないのですが、浄化槽の方へ逆流する。そして、浄化槽の中に巻貝が発生したり、玄関の入口の所に夕方になると蚊柱が立ったり、そういう状況を毎年繰り返しています。入梅時期になりますと、町会の方から市の道路安全推進室並びに環境衛生課へ、暫定処置として何とかしていただけないかということで、毎年お願いしている訳です。しかし、残念なことに、根本的な解決方法は、「予算処置をしないと」というところで話が止まってしまう訳です。当然予算処置をすることは大変なことであるということは私どもも存じている訳ですが、できればもう少し具体的に、方向性なり計画性というようなものをお示しいただきまして、地域住民の納得行く様な施策をとっていただきたい。

回答

国家公務員住宅際に沿っての所だと思っておりますが、路面排水あるいは家庭排水すべてがU字溝排水に頼っているのが現状であります。公民館側の方に大きなBOXカルバートが入っていて、それが流末となっている訳ですが、一番上流端のU字溝等が非常に老朽化しておりますので、流れが悪いのであらうと思えます。蓋自体も高くなっていて、壊れている所もあるという現状は認識しております。ただ、U字溝を直せば完全に流れ、すぐ対応できるのかということでも無いと思えます。まずU字溝の流末の最後に流れ込む所の高さ的なものと、宅盤あるいは家の中からU字溝に接続している箇所が低いと、U字溝を高くした場合には家の中から流れなくなるという状況もありますので、一回現地を測量し、測量した中でどのような形、どのような段取り、進め方がいいのか検討してまいりたいと思っております。

薬円台駅前の不法駐輪について

質問

薬円台駅前の不法駐輪につきましては、土・日は非常に無法地帯といえますか歩けない状態となっておりますので、早急な対策を講じていただければと思います。

回答

薬円台駅前の指導員の配置は、船橋市内全域の中でも、特異な場所です。普

通の所ですと、朝 6 時から 9 時、船橋の北口でも 6 時から 12 時まで、指導員を配置して対処しているのが現状であります。朝の 6 時から夕方の 6 時まで実施しているのは、この薬円台だけです。

もう一つ、薬円台駅には、市営の駐輪場が 3 箇所あります。そのうち 1 箇所、駅のすぐそばの第 2 駐輪場は満杯です。ところが、公民館のすぐそばの駐輪場は空いております。やはり、人が自転車を置いてそのまま駅に行けるという導線上にある、そういう利便性の良い所でないと利用されません。全体でいいますと約 66%しか使われてなく、あとは余っているという状況です。ですから、皆さんにはちょっと遠くなりますがそういう所を利用していただき、駅前はいきれいにしたいと考えております。

ご要望ありました土・日の指導員につきましては、一応ローテーションがありますので、土・日もできるかどうか、ローテーションの組み換え等検討してまいりたいと思っております。

薬円台交番の移設について

質問

駅前にはコンビニエンスストアが数軒ありまして、この夏などは、青少年の方々が駅前にたむろしている状況でした。帰宅が遅くなった女性は、ちょっと不安を感じておりました。怖いというお話しも聞きましたので、薬円台駅前に交番があれば、かなり環境が変わってくるのではないかと思います。昨年飯山満地区の懇談会でも薬円台交番の移設、あるいは新設というようなお話しがあったと思っておりますので、その後の進捗状況をお聞かせいただきたいと思っております。

回答

交番の設置の件であります。市内には交番新設の要望が、現在 17 箇所程あり、市長会を通じて県に要望しておりますが、何分にも県の財政状況も非常に厳しいということで、なかなか実現には至っておりません。

ご要望のありました薬円台交番の新設につきましては、所管である船橋東警察署にお聞きしましたところ、「県内で今 100 箇所以上の交番要望がありなかなか難しい」とのことです。交番の移設につきましては、地元の皆さんのご意見、あるいは地区連の皆様のご意見をお聞きして、これから所管の警察署と協議してまいります。

薬円台調整池の利用並びに町会会館の建設用地確保について

質問

私たちの町会は会館が無く、皆、会館が欲しい、利用したいという気持ちを持っております。しかしながら、そういった土地がまったくありません。ちょ

っと借りるとしても将来を考えると不安があります。私ども町会と隣接しております所に薬円台調整池があります。数年前、ここは公園になるというようなお話しを、もちろん下水道は供用されてからだと思いますが、そういったお話しを伺っておりますが、なかなか実現に至っておりません。従いまして、手前勝手な考え方ではありますが、一部だけでも上を覆っていただき、ある程度の土地を作っていただき、貸していただくことが出来ないものだろうかと思っております。それだけではなく、あの施設については、当然大雨とか有事の際には、現在のところ必要不可欠な施設でありますので、撤去する訳にはいかないと思っておりますが、何か有効利用を考えていただけないだろうかと提案いたします。

回答

薬円台第1調整池は、昭和49年から平成9年までの間に施行されました、薬円台の区画整理によって設置された調整池であります。

この調整池は、過去何回か大雨の時に満水になっている状況等もあります。そういった意味で、やはり調整池の機能を的確に守っていく必要があるという観点から、極力そういう構造物は設置しないことにしております。それは、安全面であるとか、衛生面、そういった面で考えておりますので、調整池のところにピロティー式にそういうものを設置するということは、なかなか難しいと思っております。

また、皆様方の町会・自治会につきましては、自主的な組織として地域の共通する諸問題を取り上げていただきまして、住みよい街づくりを目指し、地域活動を行っていただいております。そして、その地域コミュニティの拠点となっているのが確かに町会・自治会館であります。このことから、市では、町会・自治会の振興という立場から会館建設に対して助成をし、支援をしているところであります。

これまでの町会・自治会館の建設は、それぞれの町会の会員の総意に基づきまして、用地購入費や建設資金など、それぞれの町会・自治会の事情によりまして、大変長い間ご苦労の上、また、市の助成によりまして会館の建設ということになっております。従いまして、これまでのそういった町会・自治会のご苦労やご努力によって用地を確保され、自治会館を建設された経緯もありますので、あるいは、そういう役員の皆様方、会員の皆様方のお気持ちなどを色々考察いたしますと、市で会館用地を提供することは、大変難しいと考えておりますので、ご理解いただければと思っております。

薬円台地区の下水道計画について

質問

今年8月1日発行の「広報ふなばし」には、「普及率50%に、確実に広がる下

水道」というタイトルで、市の下水道計画の概要についての記事が掲載されております。この欄の下水道計画図を見る限り、当薬円台地区は事業認可取得区域でさえない状態に置かれているという実態が明らかになりました。このことについては、下水道部長はよくご存知であり、市長も当然のことながらご存知かと思えます。一体なぜこのような地域間で格差が生じたのか、お尋ねしたいと思えます。既に下水道を利用している市民と利用したくても出来ない市民の間に大きな不公平が存在しているのではないかと、このように考えざるを得ません。無論、下水道建設の上で技術的な問題を避けて通る訳にはいかないことは重々承知しておりますが、何としても理解できないのは、市民生活にとって最も重要な社会資本の一つである下水道の整備が、この船橋ではあまりにも長年に渡ってなおざりにされて来たのではないかということ、私はこの町に移り住んで24年になりますが、つくづく感じざるを得ないのです。年間予算、80億とか110億とか言っておりますし、特別予算の委員会の資料を読みますと、年間下水道事業予算に何と250億もの巨額の投資をしています。こういう一大プロジェクトである以上は、その事業の特殊性からしてある程度の辛抱はやむを得ないと、これは一市民として重々承知しております。限られた1570億位のいわゆる年間の総予算の中で、巨額なパーセンテージを占める下水道事業計画というのは大変なことであり、私どもとしても辛抱しなければいけないということは重々承知してはいるのですが、何と30年近くも待たなければ事業計画というものを、その進捗度、遅々たる進捗度から平等であるべき市民が、長期に渡って当然の権利として享受出来る恩恵に浴することが出来ない状態に置かれているという事実を、非常に明らかにして来た訳です。この事実に対して、受益者の立場から申し上げますと、予算を倍にしてでも、本当に下水道の計画を早めていただきたいとこのように申し上げざるを得ないのです。

昨年4月中核都市を宣言なさいまして、先程も市長が申されました。その目標とするところは、究極には、やはり、市としての都市機能を充実させて、どこの街よりも美しい街をつくるということが、市の最終目的でないのかなと思うのです。そして美しい街とは何かというと、都市基盤がきちんと整備されて、一人ひとりの市民が幸せな生活を送れる、いわゆるクオリティ・オブ・ライフ、質の向上ということは何よりも重んじる都市ではないかと思うのです。要するに、56万という人口を抱えるから中核都市であるのではなく、その内容が厳しく問われているのではないかと、このように理解しております。言うまでもなく、いつ来てもおかしくない災害、自然の異常から来る最近の災害を見る時、人が本当に簡単に死んで行くのです。そしてそのようなことを無くすために、やはり災害に備えるという意味からも、この下水道の整備というものは、焦眉の急ではないかこのように感じております。このような諸々の見地から、市

政の最高責任者である市長は、この点をどのようにお考えなのか。これは、平等である市民間に30年・40年に渡る格差が生じているということ、そして、当然のことながら、順番を追って下水道を整備していると思うのですが、この薬円台地区が、最後の最後に回されているという事実は、私どもとしては承服しかねるのです。そして、ふなばし広報によれば、下水道普及率は50%だと。ただ50%ではなく、ようやく50%。来年は戦後60年に達します。その中で、ようやく下水道の整備が50%に達するという状態は、やはり異常と考えて欲しいとこのように考えるしだいです。私としては、この30年間の不利益に対して、市民税を軽減しても良いのではないかと、このように提案したいと思います。私どもに対して、薬円台地区の住民に対して、市民税を軽減するくらいの税制をひいてもいいのではないかと考えております。

なお、下水道部長からお答えいただきたいと思いますのは、県のネットワーク管を利用して、この7年程の間に予定を早めて、下水道本管を布設する動きがあるやに聞いております。これについて、ご答弁いただきたいと思います。

回答

お話しがございましたように、やっと普及率が50%になったということでございます。これは先程冒頭にお話しいたしましたように、船橋市は典型的な人口急増都市であった訳であります。昭和30年代におきましては、2万人以上の方が船橋市に移り住み、都市計画もままならなかったことから、都市基盤整備が遅れてしまったことは、否めない事実でございます。話しは飛びますが、私が市長になりました時におきましても、まだ、40%行っていなかったと思います。ですから、下水道の普及に対しましては、私は、毎年厳しい財政状況中ではございますけれども、予算を計上してきた訳であります。中には、「何でこんなに下水道ばかりにお金を使うのだ、市の財政がパンクしちゃうだろう」と、こう言った方がいることも事実であります。しかしながら、おっしゃるように、確かに最低の文化生活を営む上の条件であります。条件として、下水道の普及はしなければならぬことは重々承知をしております。船橋市は単独処理区ということでございまして、膨大なお金が掛かっている訳でございます。近隣では流域下水道がございしますので、そちらの方でしたら県が行ってございしますから、それに処理すれば安く済むわけでございます。幸いにいたしまして、この船橋は、印旛沼流域下水道と江戸川左岸流域下水道がございまして、これを結ぶのが県のネットワーク管であります。この地区はネットワーク管が入ってまいりますので、これに結ぼうと、暫定的という言葉を使っておりますけれども、これをお願いしているのが現状でございます。先程市民税を減額してくれということでございましたけれども、それはなかなか出来ませんが、私どもからいたしますれば、やはり下水道の普及というものは急務ですから、今一生

懸命努力いたしております。詳細については、下水道部長に説明をさせます。私どもは下水道普及のためには予算は毎年組み込んでまいりますと、そういうお約束だけはさせてもらいます。

回答

ネットワーク管の状況であります。太い線がネットワーク管で、平成11年度から事業を実施しているところであります。これは、全部の区間で工事を実施しており、来年度中には完了の見込みと伺っております。次に、事業認可の予定の区域であります。全体で約300ha、この赤い枠で囲まれた地区について事業認可を取得すべく、現在検討、協議を進めており、事業認可については今年度中に取りたいということで事務を進めております。ちょうど七林町は、この地区になる訳ですが、下水道は自然流下が原則でありますので、下流側から工事して行くこととなります。先ず、ネットワーク管との接続のポイントであります。どこでも繋げるということではなく、あくまで接続点でしか繋げないというのは、かなり深く埋設されており、管径も大きいということもありまして、接続するポイントはそれぞれ決まっております。薬円台・七林線の北側の区域につきましては、芝山高校の付近に芝山団地の調整池がありますが、そこに接続点が出来ます。この接続点から幹線を工事して行く訳ですが、これが全体で約3.6km程あります。したがって、七林町につきましては、ある意味では上流部に位置します。整備時期としては7年後ないし10年後ぐらいまで掛かってしまうということも考えられます。薬円台・七林線の南側、薬円台4・5・6丁目につきましては、薬円台の駅付近、ちょうどライオンズマンション付近に接続点が出来ますので、こちらの方は、そういった意味では600m位でありますので、整備時期については早まるということは考えられます。スケジュール的には、今年度中に事業認可を取得いたしまして、来年度に実施設計を行って、さ来年度あたりから幹線の工事に入ってまいりたいと思っております。幹線が出来ますと、その進捗状況に応じて、各家庭の排水を接続する工事、面整備工事に入って行くということになってまいります。

再質問

7年から10年はやはり掛かりそうかどうかということですか。

回答

接続点から七林町会まで2km位ありますので、実施設計を行って見ないと、地質の状況、地下埋設物の状況、そういう工事の余条件でだいぶ工期が違ってまいります。それと、国庫補助金に頼っている部分があるという状況等もあり、そういった意味で不明確・不明瞭な点も多々ありますので、何とも言えない状況ですが、概ねそういうようなスケジュールで工事を行ってまいりたいと思っております。予算的な面では、先程市長からもお話しがございましたが、

私どもの要求額のほぼ 100%の配分をいただいている状況でありますので、今後とも、一層の普及率の拡大に努めてまいりたいと考えております。

要望

付け加えさせていただきますが、今年度の予算特別委員会の議事録などを読みますと、必ずしも、この下水道普及に多額の予算を使うことに対して、賛成しない市会議員もいることが見受けられます。従いまして、市民の要望は非常に強いのだということ、よく市議会の方々も今日の会合を通じて認識されて、市議会に反映させていただきたいと思っております。黙っているから何も問題がないということではなくて、黙っていても問題はやはりある訳です。これは、市政に期待するが故に黙ってついて行こうと思っている訳で、信頼関係がそこにあるということをお願いしていただき、市にとって一番大切なこと、市民にとって最も重要なことを、市長として是非果敢に取り組んで行っていただきたいと、是非よろしくお願ひしたいと思っております。

地下道の新設について

質問

七林地区の道路が非常に狭く、また、北習志野へ通じる道路がないということで、新京成の地下を掘って北習志野へ抜けるような道路を造って貰いたいという要望が出ております。というのは、火災等が発生しても、いつも遠回り。また、救急車等も、七林地区は住居表示も出来ていない中で、すぐに来てくれない状況です。また道路の関係もありまして、西習志野 2・3・4 丁目の方も、北習志野へ行くのにいつも遠回りしていくような状況であります。是非、新京成の北習志野駅の辺に自転車を通れるような地下道みたいなものを、せめて救急車が通れるような幅の道路を設置していただきたい。

回答

都市計画道路 3・4・20 号線と南側の 3・4・25 号線がありますが、その間を結ぶ都市計画道路がありません。その間については、一般道路である程度接続されておりますが、一部、七林線から北習志野の間では、通過交通が出来る道路がないというのは承知しております。現在の状況で言いますと、地下道となると、鉄道に対してのクリアランスがあります。そういうものを考えて、あるいは、構造物を入れるときのことを考えた場合、その前後に非常に影響が出てきますが、階段であればある程度短いスパンで下ろすことが出来るということがあります。ただ、車とかあるいは健全者だけではありませんので、車椅子の方とかを考えた場合には、やはり、ある程度の勾配規制が出てきますので、今の状況の中で設置するのは非常に難しいだろうと考えております。また、平面状でどうかということも一つ考えられますが、現在、鉄道会社では、事故が多

い中で、踏切を減らす方向で考えており、踏切を増やすということは嫌がります。そういう問題もありますので、違う方策が取れるかどうか、また、どこか途中で抜ける形がうまくいく所があるのかどうか、検討してみたいという思いはしております。

要望

道路が非常に狭いということで、あそこの通りを通るのが怖いと思っております。せめて、自転車が通行できるくらいの地下道を要望したいと思います。難しいと思いますが、検討していただきたいと思っております。

回答

よろしければ道路部は5階にありますので、気軽に来ていただいて、「この辺はどうなのだろうか」と、そういうお話をいただければ、ただお聞きするだけではなく、いろいろなお話をしながら可能性があるのかどうか、あるいは、新京成にお願いしても大丈夫なのかどうか、お話し合いをして行きたいと思っております。

ごみステーションの設置指導について

質問

町会の地域の中に、最近建売分譲が建ってきております。大規模な分譲地では、数箇所のごみステーションが最初から設置されているような状況であります。ところが、小規模になりますと、居住者がそこに入居してから始めて、「すいません。ごみステーションを」という話しになるのです。どうしても一戸あたりの敷地面積が小さいものですから、その中にごみステーションを作るという状況がなかなか出来ないのです。まして、誰しも嫌がるごみステーションを自分の家の門の前に作るということは、嫌なものですから、既存の所へ一緒に入れてくださいという状況が多々あります。そこで、行政指導の中で、建売分譲に関しましてのごみステーションをどのように指導されているのか、現実の問題としてどうなっているのか、お話しをいただきたいと思っております。

回答

ごみステーションにつきましては、500平方メートル以上の開発行為に該当した場合には、業者を指導して、何箇所か市の方に土地を提供いただいて管理していくという形を取っております。しかしながら、それ以下のものについては、そういったシステムがありませんので、入居者ご自分たちでお話し合いをして、市に届出があったものを市が見に行き、車が入れるとか、近隣に迷惑を掛けないとか、そういうような一定の条件を満たした時に、ステーションとして、収集に行くという形をとっております。最近いろいろなトラブルというか、市内各地で起きております。たとえば、町会に入っていない方が、「この管理

は我々がやっているのだから、出さないで欲しい」と言われる場合があります。そうしますと、「ごみは市が取って行く義務があるだろう。市民でありながら、それが出せないのはどういうことだ。」といったトラブルとか、空地があった時にそこをごみステーションとして設置していたのですが、その土地に後から住宅を建てられ、たとえば、その方の生活の窓から、あるいは玄関の前に既設のごみステーションがあった時には、住宅を建てられた方が、「これを何とかして欲しい」、「場所を移して欲しい」、「自分の塀の所は嫌だ」とか、ごみステーションに関しては、いろいろな問題点があります。

私どもは基本的には、ごみステーションは市民の方に管理していただいておりますので、町会の中とか班の中で話し合っていていただいて、決めていただくのが一番好ましいことで、合意を形成していただく指導をさせていただいております。しかしながら、最終的にそういう合意が形成できない場合もある訳ですので、その場合はやむを得ず、私たちは暫定的にごみステーションを指定させていただきまして、ごみは持って行かなければ困りますし、不法投棄する訳にはいきませんので、そのような形で私どもが処理をしていくとともに、並行いたしまして、住民の方に色々話し合っていております。ごみは誰もが出しますし、処理しないとイケないものですから、多少の我慢はしていく中で、私ども、トラブルがある場合にはすぐに駆けつけまして、お話し合いにも立ち合わせさせていただき中で、調整もさせていただきますので、今後ともご理解を賜ればと思います。

プライバシーの保護について

質問

人件費削減ということだろうと思いますが、臨時職員あるいはパートの人達がたくさんいると思います。船橋市の中には、3分の1ぐらいいると思います。そういう人達にいろいろな事務をやっているのですが、果たして本当に、個人のプライバシー、秘密が守られるのかということに私はとても危惧しております。そのへんはどういうような形でやっているのか。

回答

市の正規の職員の他に、いろいろなセクションにおきまして臨時職員の方に働いていただいております。プライバシーの問題でございますが、臨時職員につきましましては、採用にあたって、職員課、また、他のセクションの所でもございますが、それぞれ、個人個人面接をしており、プライバシーの問題、当然、仕事によりましては市民の皆様方のプライバシーに関わることも多々ございますので、そういう問題につきましましては、常に注意をする、特に注意をするというようなことで、話しておりますので、基本的に、個人の資質の問題もござい

ますけれども、今のところ、そういうようなことはございません。先程、市長の方から話しがございましたように、駅前のフェイスでは、臨時職員の方が、立派に仕事をしていただいております。市民の方からも、大変良くやっていたくというようなことで、お褒めの言葉をいただいております。今後も引き続きプライバシーの保護については、重々注意してまいりたいと思っております。

道路上の立て看板について

質問

道路上の立て看板ですが、船橋市あるいは東警察署というような立て看板が道路の方々にあります。それが方々で倒れていたり、放置されていたりしています。それは交通法規のひとつの看板ですから、直すとか、きちんと整理しなくてはいけないのではないかと思います。パトカーで通った時にでも、曲がったものはちょっと直したりするとか、そういう形を取っていただきたいと思えます。

回答

道路の立て看板につきましては、交通標識と道路標識があり、警察・公安委員会が設置するものと道路管理者が設置するもの、また、道路管理者が注意看板を、危険な箇所に設置する場合があります。

船橋市内の道路の総延長は、船橋から北海道稚内ぐらいの距離約 1、000 km あり、それを市で維持管理しております。その中で、立て看板がそういう状況であるものについては、今まで 1 班体制であったものを 2 班体制にするなどし、毎日パトロールだけを専門に実施している道路パトロールによって現在対応しているところであります。また、それだけでは気が付かない所もあるだろうということで、郵便局の配達員の方からの情報、また、道路安全推進モニターという制度を設け、何かあったら連絡していただくということで、市内 100 名の方に委嘱させていただくなどして対応しております。しかしながら、こと細かくすべて見て貰えるというものでもありません。もし、皆様の中で、お気付きの点がありましたらお電話いただいて、即対応していきたいと思っております。また、パトロール体制の強化、また、モニターの方にもいろいろお願いをしていきたいと思っております。

違法駐車対策について

質問

薬円台公園から薬円台小学校、恩寵園、めぐみ学園がある道路は、違反駐車車両で一杯です。自動車がずっと駐車しておりますので、特に、小学生が登校・下校する時が危険です。警察の話しですと、7 時間以上駐車した場合には違

反車両として撤去させて貰うとか、パトロールで注意しているとか、そういう話しですが、そんな生易しいものではないのです。私は、犬の散歩に出かけます。その時に、横道から飛び出してくる登校中の小学生が、自動車と接触するような場面を、何回も見ております。そういうことで心配になりまして、自治会として、市に連絡し口頭で「防護柵ではなくてもいい、白線でもいいから引いてくれ」とお願いした訳です。白線があれば完璧に駐車違反ですから、車両は止めることが出来ない訳ですので、対応をお願いしたい。

回答

違法駐車を取り締まりにつきましては、ご存知のように交通管理者が実施しているのが現状であります。道路管理者は、あくまで表面上の管理ということで行っておりますが、先程お話しがあった所につきましては、白線を引けば良いのではと思っております。

しかしながら、白線が引いてあってもその上に止める人、横断歩道上に止める人、いろいろな人がおりますので、駐車されない方策を物理的に考えることが出来るのかどうか、道路の幅、道路自体の機能というものを考えて、そういうものがひとつ方策として考えられます。といいますのも、ガードパイプとか、そういうものを設置して、物理的に止められない方法で対応している所もあります。また、白線を引きまして、それで交通管理者にお願いし、駐車違反として取り締まるという方策もあるでしょう。いろいろ考えられないことはないと思いますが、今言われている場所が特定できませんので、場所を教えてください現地調査をして、どういう方策が取れるのか警察と協議してまいりたいと思っております。

有価物資源ごみの回収協力金について

質問

有価物資源ごみの回収協力金は、船橋市が長年に渡って実施されてきた施策のひとつだと理解しております。ところが、ここに来て、予算的に色々と問題があるので、松戸とか市川市と同じような形で、将来的にこの予算を割愛しようという動きがあるやに聞いておりますが、これは事実でしょうか。

回答

現時点では、大変厳しい財政状況ではありますが、現状のままで行きたいと考えているところであります。今すぐに、たとえば、現在キロ当たり 3 円を助成しておりますが、これを 2 円にするとか、1 円にするとか、そういった当面の考え方はもっておりません。

しかしながら、財政事情が大変厳しい状況もありますので、総合的に判断して、各市の状況もいろいろとありますが、3 円が 2 円になるとか、そういう可能

性はありますが、現時点においては、3円を下げるとか、そういう考え方は持っていないということでご理解願いたいと思います。

再質問

当然のことながら、最近の新聞報道によりますと、新聞紙が過去に比べて高くなってきており、キロ10円あたりで売買されている。東京あたりでは、業者が収集ステーションから古紙を盗むというようなケースも聞き及んでおります。市の限られた予算の中から、回収協力金、昔は報奨金と言っておりましたが、平成9年あたりから、キロ6円が半分の3円になったといういきさつも知っておりますけれど、資源ごみ、有価物回収、これは市にとっても、ごみの管理、収集という意味では非常に重要な施策のひとつではないのかなど、理解していますが、基本的には、値段をカットすることなく、従来と同じように形で維持していただきたいと、このように考えております。

回答

今言われた考え方と同じであります。各市の助成金の額をいろいろ調べてみますと、ばらつきがありますが、その中でも、船橋市が一番安い方と受け止めておりますので、これを今すぐに下げていくという考え方は持っておりません。